

高等学校 第1学年
歴史総合

**デジタルアーカイブの資料を操作して観察し、友達と
交流しながら、資料から当時の変化を読み取る。**

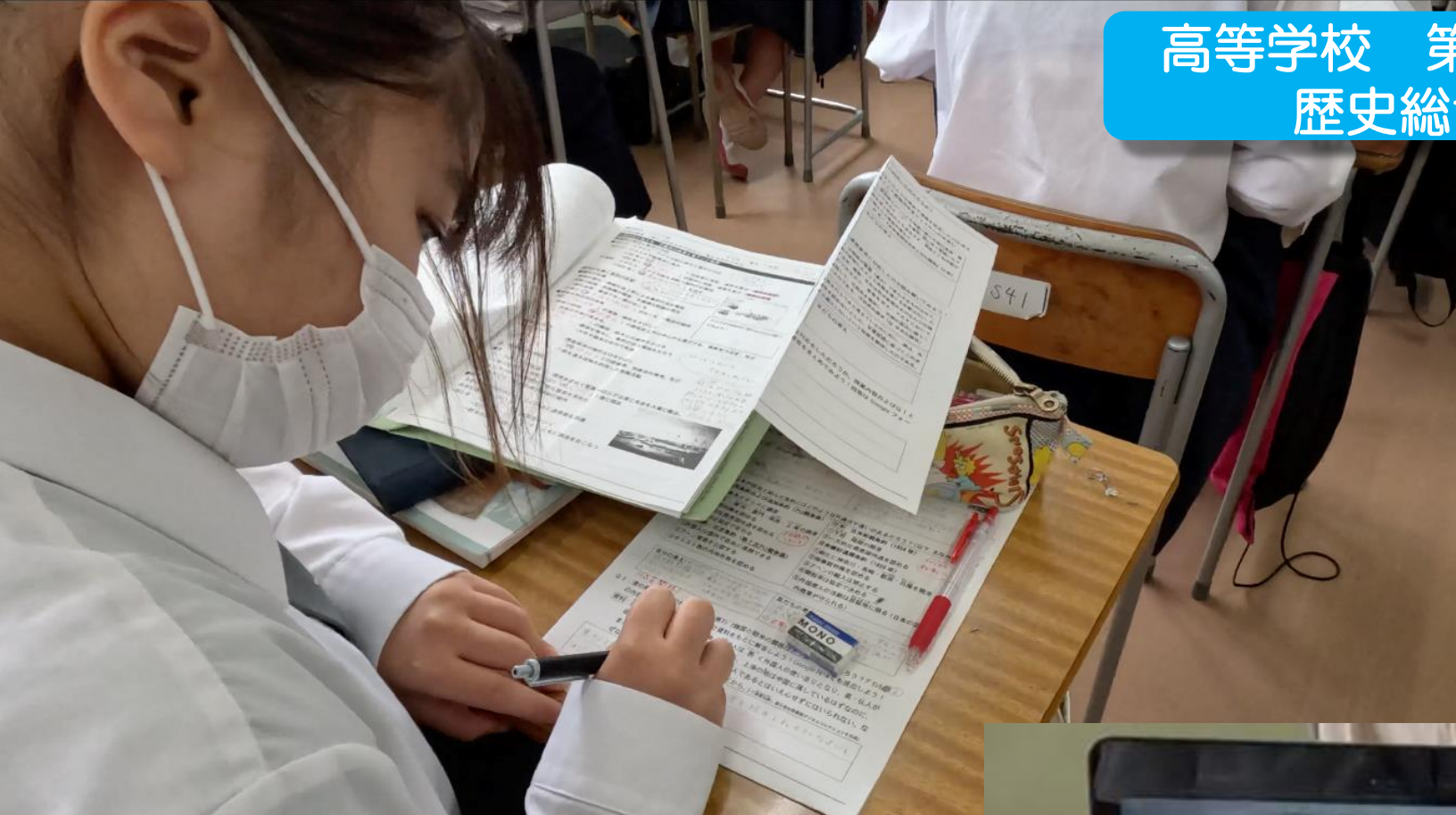


横浜開港資料館デジタル
アーカイブ



神奈川県立歴史博物館
デジタルアーカイブ

高等学校 第1学年
歴史総合



**学習課題（問い）について、考察
したことを基に、自分の考えをまとめ、
要点をクラウドで共有する。**



■単元の目標

産業社会と国民国家の形成を背景に人々の生活や社会の在り方が変化したことについて、世界と其中における日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。

■小単元3の概要

諸資料を基に、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。

■単元の指導計画（24時間）

小単元1「近代化への問い」（2時間）

- ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、考察の過程で見いだした疑問を問いとして表現する。

小単元2「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係」（5時間）

- ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響に着目し、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。

小単元3「アジア諸国と欧米諸国との関係の変容」（5時間）

- ・産業革命の影響や清の開港と日本の開国の背景や影響に着目し、工業化と世界市場の形成を理解する。

小単元4「国民国家の特徴や社会の変容」（5時間）

- ・国民国家の形成の背景や影響に着目し、立憲体制と国民国家の形成を理解する。

小単元5「帝国主義政策の影響」（5時間）

- ・帝国主義政策の背景や帝国主義政策が与えた影響に着目し、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。

小単元6「近代化と現代的な諸課題」（2時間）

- ・自由・制限などの観点から設定した主題について、背景や原因、結果や影響に着目し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。

■小単元の概要

問いを表現する活動を通して、単元全体の学習の見通しをもつ。

主題について諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、近代化の歴史に関わる概念を理解する。（小単元3～5も同様）

東アジア諸国と欧米諸国との関係の変容を多面的・多角的に考察し、工業化と世界市場の形成を理解する。その際、博物館や資料館などのデジタルアーカイブの資料も活用し、読み取ったことや気付いたことについて生徒間で交流することを通して、考察や理解を深める。

近代化の歴史上に存在し、現代の生徒が直面する諸課題について考察するとともに、単元全体の振り返りを行う。

■ 資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（小単元3）

【学習活動の場面】

本時の学習課題（問い）の追究にあたり、**博物館や資料館のデジタルアーカイブの資料**や清や日本が結んだ条約を考察した。個々の問いの考察を踏まえ、教師は「**清の開港と日本の開国によって、東アジア諸国と欧米の関係はどう変わったのだろうか。まとめたことを整理しアンケートフォームに提出しよう**」と投げかけた。

【子供の「深い学び」の姿①】資料から具体的に変化を考察

デジタルアーカイブを活用し、ペリーが持ち込んだものとその影響を考察する場面

AとBは次のように読み取ったことを共有した。

A「これミシンみたいだね」

（※「電信機」であることを後に全体で確認した）

B「なんだろうね。こっちは列車かな？」

A（画面をピンチアウトして）「『蒸気車』って書いてあるよ」

B「本当だ！気付かなかった」

資料から読み取ったことを全体で交流し、影響について考察した。

【子供の「深い学び」の姿②】理解したことを表現し交流

本時の学習課題である東アジア諸国と欧米諸国との関係の変化について、Bは次のようにまとめ、提出した。→「清の開港や日本の開国は、工業化していた欧米諸国に有利な不平等な関係につながった」
入力後、Bは自分の記述とクラウドの他の生徒の理解と比較した。

【当該指導での「深い学び」】

この授業は、デジタルアーカイブを活用するなど、多くの資料を扱いながら、教師の的確な発問や声かけにより、資料から読み取れること、社会の変化として考察できること、考察を総合して理解したことなど、段階的に生徒の思考を深めていた。Bのコンパクトなまとめは、具体的な資料の考察を裏付けとした確かな理解を示している。本時を含めた単元により、生徒は、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容を多面的・多角的に考察し、工業化と世界市場の形成について捉えていった。

【活用したソフトや機能】博物館や資料館のデジタルアーカイブ、アンケートフォーム

■ 指導上の工夫とICTの利活用

①学習課題を設定する。

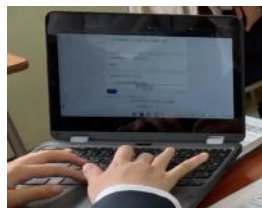
* 学習課題を明示することで、本時の目標を生徒と共有し、視点を明確にして資料から情報を集めることができる。

②資料から情報を適切に読み取ったり、考察したりできるよう、個人の活動と話し合いを相互に関連付ける。

* 端末を使って資料を拡大して読み取るだけではなく、自らの読み取りを他者の読み取りと交流することで、丁寧な読み取りにつながる。

③学習課題に対する生徒のまとめを行う時間を確保する。

* 読み取った情報や他者の意見から気付いたこと、考察したことなどを関連付けたりする活動を位置付け、生徒自身で文章に表すことで自らの考えを深いものにしていく。
* その際、特に字数を制限せず、考察の過程をまとめて思考したり判断したりしたことを表現できるようにしたり、あえて少ない字数に制限してまとめを行い、概念的な理解を表現するように導くといった工夫が考えられる。



学習指導要領や解説との関連

高等学校学習指導要領 第2章 第2節 地理歴史

第2款 第3 歴史総合

2 内容

B 近代化と私たち

(2) 結び付く世界と日本の開国

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 省略

(イ) 産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 省略

(イ) 産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

3 内容の取扱い

(1)

エ 年表や地図，その他の資料を積極的に活用し，文化遺産，博物館や公文書館，その他の資料館などを調査・見学したりするなど，具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際，歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義に気付くようにすること。また，科目の内容に関係する専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り，社会との関わりを意識した指導を工夫すること。